

## 令和3年度大豆作況試験生育状況（7月25日付け調査結果）

### [ 気象経過 ]

7月上旬は、平均気温は平年並となったが、降水量は平年を大きく上回り、著しい寡照となった。7月中旬は、高温、多照、少雨となった(表1)。

### [ 生育概況 ]

#### 5月25日播種

主茎長は平年並～やや短いが、7月中旬の高温により主茎節数及び分枝数は平年よりやや多くなっている。総節数も平年並～やや多くなっている(表2)。

開花期は、高温傾向で推移したため「タンレイ」で平年より4日早くなっている(表2)。

#### 6月15日播種

主茎長は40cm、主茎節数は10.2節、分枝数は2.1本、総節数は17節となっている(表2)。

#### 7月5日播種

7月中旬の高温により、主茎長、主茎節数及び総節数は平年を上回っている(表2)。

表1 旬別の気象経過（アメダス古川）

項目	月・旬	5月		6月		7月	
		下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬
平均気温	本年値(°C)	17.0	20.0	20.8	20.6	21.0	24.7
	平年差(°C)	+0.2	+2.1	+1.8	+0.5	-0.4	+2.4
積算日照時間	本年値(h)	62.7	75.1	44.5	44.1	6.2	60.7
	平年比(%)	89	122	99	106	16	158
積算降水量	本年値(mm)	36.0	15.5	10.5	17.0	94.0	21.5
	平年比(%)	90	56	25	32	158	33

表2 7月25日付け調査結果（7月26日調査）

播種期	品種名	開花期 (月/日)	主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数 (本/本)	総節数 (節/本)	
5/25播種 (5/25)	タンレイ	本年値	7/21	62	15.1	4.0	32
		前年差	2日早	-9	+0.9	+1.1	+3
		平年差	4日早	-5	+0.9	+0.9	+2
	ミヤギシロメ	本年値	—	72	14.8	3.3	28
		前年差	—	-5	+0.6	+0.4	+1
		平年差	—	+2	+0.6	+0.3	-1
6/15播種 (6/15)	ミヤギシロメ	本年値	—	40	10.2	2.1	17
		前年差	—	—	—	—	—
		平年差	—	—	—	—	—
7/5播種 (7/2)	タンレイ	本年値	—	26	6.0	0.0	6
		前年差	—	+7	+2.1	0.0	+2.3
		平年差	—	+8	+1.5	0.0	+1.7

注1) 平年差はH29を除く過去5か年の平均値との差

2) 6/15播種のミヤギシロメは今年度から調査を開始したので前年値及び平年値はない

3) 栽植密度の設定は、5/25及び6/15播種が条間75cm・株間20cm、7/5播種が条間75cm・株間10cm（1株2粒播種）

# 令和3年度大豆生育調査ほ生育状況（7月25日付け調査結果）

表3 7月25日付け調査結果

標・晩	品種名	普及 センター	栽植密度 (本/m <sup>2</sup> )	播種期(月/日)			主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)		
				本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
標播	タンレイ	仙台	12.3	6/10	8日遅	-	34	-45	-	8.3	-5.5	-	0.8	-0.8	-
		栗原	13.8	6/7	4日遅	-	61	-10	-	13.1	-0.3	-	1.7	+0.4	-
	タチナガハ	登米	19.6	6/15	7日遅	4日遅	24	-12	-9	8.6	-1.2	-1.2	0.0	-0.1	-1.1
	ミヤギ シロメ	大河原	11.8	6/23	同日	3日早	29	+11	+8	7.5	+1.4	+0.3	0.0	±0.0	-0.3
		仙台	8.8	6/2	同日	3日早	51	-19	+10	11.7	-1.9	+1.6	3.8	+1.2	+2.2
		栗原	14.3	6/2	同日	2日早	86	+48	+48	14.0	+5.3	+4.5	1.6	+1.3	+1.0
		登米	12.9	6/15	8日遅	2日遅	33	+1	+8	8.7	-0.5	+0.5	0.0	±0.0	-0.5
石巻	12.4	6/9	4日遅	10日早	49	+8	+21	9.8	+0.5	+2.3	0.7	-0.3	-0.1		
晩播	タンレイ	石巻	16.6	6/10	3日早	3日早	51	+9	+17	9.3	+0.5	+0.6	0.5	-1.0	-0.5
	あやこがね	大河原	12.4	6/17	1日早	1日早	28	+15	+7	8.1	+2.9	+0.7	0.3	+0.1	+0.1

注1) 平年差はH29を除いた過去5か年の平均値との差を示す

2) 仙台及び栗原の「タンレイ」の平年値は調査ほの変更等のためない